

資料20 国譲り神話の形成と変遷の要因

	出雲		大和		
	史実	神話、伝承	国譲り神話	神話、伝承	史実
前史	出雲平野ができる 青銅器祭祀を終了 国作り（治水・灌漑、農業振興） 杵築大社を創建し、国作りの指導者 大国主を祭る。四隅突出型墳丘墓	スサノヲの大蛇退治神話 国引き神話 大国主と少彦名の国作り物語、大国主の試練克服物語		高天原神話の原形（天地開闢、イザナキ・イザナミの国生み、黄泉国と三貴神誕生、誓約、天岩戸） 三輪山の神奈備信仰	初瀬川中流域に農耕集落（唐古・鍵遺跡） 磯城、葛城などに大共同体
3C	邪馬台国連合に参加			前方後円墳祭祀	邪馬台国連合が成立(2C末)。魏に朝貢 邪馬台国連合が崩壊
4C	ヤマト王権の傘下に入らず ヤマト王権に平定される			ニニギ・ヒコホホデミ父子の始祖伝承	崇神がヤマト王権樹立、四道將軍派遣 熊襲・蝦夷・出雲平定、朝鮮進出 天変地異や疫病を大国主の祟りと認識
5C	ヤマト王権が杵築大社で大国主祭祀 西部の中心勢力が出雲郡から神門郡に替わる		国譲り神話①	天孫降臨神話①・神武東征神話① 伊勢神宮を創建	王権として三輪山で国家的祭祀 高句麗に敗退、北方の天神神話が伝来 河内を開発し、大古墳を築造 宋に朝貢。「治天下大王」を名乗る 宋の冊封体制から離脱
6C	ヤマト王権が杵築大社を造営 西部（神門郡）と東部（意宇郡）が勢力拮抗。神門郡族長出雲臣が国造に任じられ、大国主祭祀を行う 西部勢力が衰退		国譲り神話②	天孫降臨神話②・神武東征神話② 前方後円墳祭祀を終了	磐井の乱。国造制・屯倉制・部民制 皇統譜の整理、神話の体系化（帝紀・旧辞の編纂）。任那を失う 出雲国造に大国主祭祀を求める。 仏教興隆の詔、遣隋使開始
7C	意宇郡族長が祖神を天穗日と認められ、出雲臣、国造として大国主祭祀を行う 国造が天皇の命で杵築大社を修造 出雲狛が壬申の乱で勲功 意宇郡司が世襲認められる	天武天皇に神賀詞を奏上		天界の主宰神を天照大神とし、伊勢神宮に祭る	冠位十二階、憲法17条、天皇記・国記 大化改新、国評制による地方統治 出雲国造に杵築大社修造を命令 白村江の戦いで唐・新羅に敗北 壬申の乱 律令制定と史書編纂を命令 飛鳥浄御原令、藤原京遷都
8C	出雲国造が意宇郡大領を兼任。忌部子首が出雲守となる 「出雲国風土記」を奏上	元正天皇に神賀詞を奏上	国譲り神話③ 国譲り神話④	天孫降臨神話③・神武東征神話③ 天孫降臨神話④・神武東征神話④	大宝律令、遣唐使再開 平城京遷都、「古事記」奏上、風土記編纂命令、「書紀」奏上